

	令和5年度行政事業レビューシート					(文部科学省)	
事業名	ユネスコ会議関係共通経費			担当部局庁	国際統括官付		作成責任者
事業開始年度	昭和27年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	国際統括官付		国際戦略企画官 本村 宏明
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	ユネスコ活動に関する法律(第3条)			関係する 計画、通知等	-		
政策	13 豊かな国際社会の構築に資する国際交流・協力の推進			主要経費	その他の事項経費		
施策	13-2 国際協力の推進						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20211224-mxt_kanseisk02-000019646_13-2.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	ユネスコ(国際連合教育科学文化機関)主催の国際会議に出席し、日本から必要な提案や発言等を行うことにより、日本のユネスコ活動における優先分野の推進に貢献する。						
現状・課題 (5行程度以内)	近年、ユネスコ総会、執行委員会以外のユネスコ主催の国際会議においても我が国の優先分野が取り上げられ、我が国から必要な提案や発言等を行うなど、ユネスコ事業に関する影響力を高めている。引き続き効果的・効率的な執行の観点から、出席する会議及び出席者を戦略的に決定しつつ、必要な提案や発言を行うことで、本事業予算を適切に執行するよう努める。□						
事業概要 (5行程度以内)	ユネスコでは定例の国際会議(ユネスコ総会、執行委員会等)の他、教育、科学、文化、コミュニケーションに係る国際会議を各国の希望に基づき、当該国がホストする形で不定期に開催している。本経費は、これらの国際会議への出席に必要な経費である。						
事業概要URL	-						
実施方法	その他						
補助率等	-						
予算額・執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の 状況	当初予算(A)	18	17.8	16.8	17.8	23.7
		補正予算(B)	-	-	-	-	
						-	
						-	
						-	
						-	
						-	
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	
		予備費等(E)	-	-	-	-	
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	18	17.8	16.8	17.8	23.7	
	執行額(G)		5	8	10		
	執行率(%) =(G)/(F)		28%	45%	60%		
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		28%	45%	60%		
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)		国際交流・協力推進費		【主な増減理由】 国際会議出席に係る経費の増に伴う職員旅費及び委員等旅費の増のため。		
	(目)	政府開発援助庁費	6	6			
	(目)	政府開発援助職員旅費	5	10			
	(目)	職員旅費	2	2			
	(目)	政府開発援助委員等旅費	2	3			
	(目)	諸謝金	1	1			
	(目)	その他	2	2			
	計(A)		17.8	23.7			

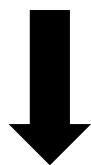
活動内容① (アクティビティ)		ユネスコで開催される定例の国際会議(ユネスコ総会、執行委員会等)の他、教育、科学、文化、コミュニケーションに係る国際会議に出席する。								
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		ユネスコ関係会議への出席	会議出席のための派遣職員 数(延べ数)	活動実績	人	3	2	11	-	-
				当初見込み	人	13	41	29	13	-
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	ユネスコで開催される国際会議等において、日本から必要な提案や発言等を行うことで、我が国の優先分野に関する議論をリードし、日本の優先分野の推進につなげる。								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 - 年度	
		日本のユネスコ活動の優先分野について、ユネスコ総会及び執行委員会等で議論されること。	出席した各国国際会議において、日本の優先分野が取り上げられた数(※目標値は前年度成果実績と同数で算出)	成果実績	件	-	41	30	-	
				目標値	件	-	-	41	-	
				達成度	%	-	-	73.2	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		ユネスコ総会・ユネスコ執行委員会ホームページ、日本ユネスコ国内委員会総会資料「我が国のユネスコ活動」								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		-								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
		アクティビティであるユネスコで開催される国際会議への出席等が、最終目標である我が国のユネスコ活動における優先分野の推進への貢献に直接結び付くため。								

事業に関連する KPIが定められて いる閣議決定等	名称	-																															
	URL	-																															
	該当箇所	-																															
事業所管部局による点検・改善																																	
点検結果	・アクティビティ①について、長期アウトカムが昨年度から25%以上減少していたため、原因について確認したところ、R3年度は新型コロナウイルス感染症の影響でオンラインによる会議開催の機会が増え、それに伴って成果実績もR4年度と比べて高くなっていたことがわかった。 ・執行率については、6割程度にとどまっているが、その要因は同じく新型コロナウイルス感染症の影響により、旅費等の経費について想定より支出が少なかったものと分析している。																		目標年度における効果測定に関する評価（令和〇年度実施）														
																			-														
改善の 方向性	・アクティビティ①について、今後も引き続き成果目標の達成度の向上を図りたい。 ・予算執行については、今後は旅費等の経費の執行が増える見込みであるが、効率的な使用に努める。																																
外部有識者の所見																																	
外部有識者による点検対象外																																	
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見																																	
事業内容の一部改善	本事業は、予算執行率が低い状態が続いているため、オンラインでの会議開催の状況なども勘案しつつ、あらためて今後の予算要求において必要経費の検討を行うこと。また、アウトカムが複数段階設定できないとしているものについて、事業効果を適切に測るために複数設定できないか、引き続き検討されたい。																																
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況																																	
執行等改善	今後は旅費等の経費の執行が増える見込みであり、効果的な執行に努める。また、アウトカムが複数段階設定できないとしているものについて、事業効果を適切に測るために複数設定できないか、引き続き検討する。																																
過去に受けた指摘事項 と対応状況	公開プロセス・秋の年次公開検証（秋のレビュー）における取りまとめ																																
	-																																
	上記への対応状況																																
	-																																
	その他の指摘事項																																
	-																																
	上記への対応状況																																
	-																																
備考																																	
-																																	
関連する過去のレビューシートの事業番号																																	
平成23年度	22																																
平成24年度	16																																
平成25年度	439																																
平成26年度	435																																
平成27年度	430																																
平成28年度	413																																
平成29年度	421																																
平成30年度	425																																
令和元年度	文部科学省	-			0418																												
令和2年度	文部科学省				0419																												
令和3年度	2021	文科		20	0444																												
令和4年度	2022	文科		21	0449																												

資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位: 百万円)

文部科学省
10百万円

政府開発援助職員旅費 5百万円
政府開発援助庁費 2百万円
その他 2百万円 を含む



【旅費】

A. 文科省職員
6百万円

ユネスコの定例の国際会議(執行委員会等)及びその他教
育、科学、文化、コミュニケーションに係る国際会議に出席

費目・使途
(「資金の流れ」において
ブロックごとに最大の金
額が支出されている者につ
いて記載する。費目と
使途の双方で実情が分
かるように記載)

A.			B.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
政府開発援助職員旅費	国際会議への出席に係る旅費	2			
計		2	計		0

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

